

平成29年第6回大田市教育委員会定例会会議録

平成29年5月26日午後2時、大田市教育委員会事務局において、第6回大田市教育委員会定例会を開催した。

1. 開会及び閉会

開 会 平成29年5月26日 午後2時00分

閉 会 平成29年5月26日 午後3時20分

2. 出席委員の氏名

教育長 大國晴雄

委 員 竹下ちとせ 仲野義文 梶 伸光 梅枝奈保美 福間信隆

3. 欠席委員の氏名

なし

4. 傍聴人

なし

5. 委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

田中教育部長 川島総務課長 和田学校教育室長 坂井学校教育室長主査
渡邊学校給食センター長 西村社会教育課長 遠藤石見银山課長 西村山
村留学センター長 後藤人権推進課長 森本総務課補佐

6. 開 会

大國教育長開会を告げ開会

(1) 第4回の会議録について

教 育 長 第4回の会議録について、訂正箇所等あればお願いします。

委 員 (修正意見)

教 育 長 発言いただいた点を修正したうえで、第4回の議事録については承認とさせていただきます。

(2) 第5回の会議録について

教 育 長 第5回の会議録について、訂正箇所等あればお願いします。

委 員 (修正意見)

教 育 長 発言いただいた点を修正したうえで、第5回の議事録については承認とさせていただきます。

(3) 教育長の報告について

教 育 長 では、経過報告に入ります。

先月は4月20日に定例教育委員会を開催しておりますので、それ以降について報告させていただきます。

4月21日学校図書館担当者会を開催しています。

25日クロスカントリー大会の実行委員会が行われました。今年は8月20日に開催されます。

27日都市教育長会議、午後から県内市町村教育長会議が松江で開催されました。私と川島課長が参加しました。

29日部落解放同盟島根県連大会が開催されました。毎年大田市で開催されます。田中部長が来賓として出席しました。

5月、石見銀山課でゴールデンウィークの対応をしていただきました。補足があれば後程説明いただきたいと思います。

10日校長会、11日石見銀山整備検討委員会が行われました。大久保間歩の公開など、現地の視察も含めてご意見をいただきました。13日大田市小学校連合運動会、14日水上町花田植えが行われました。例年ならもう1年後で行われるのですが、石見銀山世界遺産登録10周年ということで、今年開催されました。回を追うごとに盛大になっているというのが皆さんの感想でした。

17日学校給食会評議員会、同日大田市PTA連合会代議員会、また同日少年補導員協議会が行われました。田中部長が参加しました。

18日石見銀山登録10周年記念の石見銀山展実行委員会が行われました。私と、仲野委員が出席しました。

20日大田市内の退職校長園長会総会が行われました。今年は25名程度の参加でした。同日大田陸上・大田市中学陸上競技大会が二中で開催されました。役員で福間委員が参加しています。

22日から24日まで本因坊戦に関するイベントが開催されました。後程報告していただきます。

24日から伝建協総会が行われました。全国の町並み保存地区の自治体の組織ですが、6、7年前から住民代表も参加しており、総勢約300人の大会です。茨城県桜川市で登録文化財が百数十あるそうです。伝建地区になってすぐ東日本大震災を受けましたが、大田市からも担当者が応援に行き、この6年で復旧しているのを見て取れました。

ゴールデンウィークの対応について遠藤課長から補足をお願いします。

遠藤課長 公式発表、数字等はこれからですが、今日時点で聞いているのは、去年はゴールデンウィーク期間が10日間あり、今年は9日間と捉えたとき、一日平均の数で言うと昨年よりは多かったですと聞いています。一日当たり数百人増えました。三瓶山も増えているということで、3月から行われている石見銀山登録10周年に向けての情報発信等の効果があったと考えます。比較的天候も良く、ゆったりとした様子で見学されている方が多いと感じました。

教育長 ありがとうございます。以上が経過報告です。ご質問等ありますか。

梶委員 大久保間歩の見学に行かせていただきましたが、一般的には開放になっていますか。

遠藤課長 7月から開放になります。

教育長 ありがとうございます。では経過報告については以上で承認ということに致します。

(4) 議題

教育長 それでは議題に入りたいと思います。議題14号学校再編について、説明します。

平成28年度末をもって学校再編実施計画の最終年度を迎えており、今年度以降、平成29年度を初年度とする学校再編の取組みについて対応が求められています。本日は平成29年度以降児童

川島課長

生徒数の見込みを改めて説明いただき、今後の検討材料とさせていただきます。総務課長から説明をお願いします。

平成29年度児童生徒数見込みについて説明させていただきます。資料をご覧ください。表紙の考え方について、①の全体の生徒数については特別支援児童生徒数を含んだ数字です。学級数については小学校1・2年が30人、3年生から6年生が35人、中学校35人学級で算出しています。

④の山村留学生は小学校2人、中学校は6年生の数プラス1で算出しています。

⑤について、平成35年度以降と標記していますが、36年度以降と訂正をお願いします。本年の4月1日現在の0歳から5歳までの数字がこちらに反映されていますので、36年以降が（1）（2）（3）の推計で求めたものです。

1ページをご覧ください。平成28年度から平成40年度までの13年間の推移を、数値とグラフで表しています。中学校については38年度までが確定数で、39、40年度が推計となっています。この13年間で小学校の児童数は255名減、中学校は164名減、合わせて419名減です。

次のページをご覧ください。今年度当初の児童生徒数の学校別の数字を掲げています。小学生が1618名、中学生が893名、特別支援教育の児童生徒数を含んでいます。一中のクラス数ですが、1・2・3年共に5クラスで、全体のクラス数39クラスに訂正をお願いします。

学校別児童見込み数のページをご覧ください。学校ごとに12年間の数字を、それぞれ学年ごとに出しています。

大田小学校は、平成29年度児童数が504名、18クラスが、平成40年度には82名減の422名、クラスは1クラス減の17クラスになります。平成32年度に3年生が35人学級になることにより、2クラスに減ることになります。

長久小学校は、平成29年度児童数が153名、7クラスが、平成40年度には41名増の194名となります。

クラス数については大きな変動はありませんが、一番多いクラスが平成37年度の9クラスです。

五十猛小学校は、平成29年度児童数51名5クラスが、平成40年度には12名増の63名となります。平成29年度から32

年度まで複式がありますが、平成33年度からは複式が解消され、微増で各学年1クラスずつということになると考えます。

静間小学校は、平成29年度児童数69名6クラスが平成40年度には9名減の60名となります。大きな変動はありませんが、複式にはならず、全学年1クラスとなります。

鳥井小学校は、平成29年度児童数47名4クラスが、平成40年度には3名減の44名となります。こちらも大きな人数変動はありませんが、交互に複式と単式になるという状況が生まれています。

久手小学校は、平成29年度児童数205名8クラスが、平成40年度には47名減の158名となります。平成37年度からは完全1学年1クラスという形になります。

朝波小学校は、平成29年度児童数99名6クラスが、平成40年度には47名減の52名と大幅な減になります。平成36年度には複式になり、平成39年度まで複式が続く形になります。

北三瓶小学校は、山村留学生を含め、平成29年度児童数16名3クラスが、平成40年度には9名増の25名となります。すべてが完全複式になろうかと思えます。

志学小学校は、平成29年度児童数23名3クラスが、平成40年度には9名減の14名となります。こちらも完全複式です。

池田小学校は、平成29年度児童数27名4クラスが、平成40年度には8名減の19名3クラスとなります。こちらも完全複式です。

川合小学校は、平成29年度児童数74名6クラスが、平成40年度には15名減の59名となります。平成33年度は新入学生が2名と、例年に比べて極端に数字が減っています。その影響により、平成35年度から複式が生じています。

久屋小学校は、平成29年度児童数55名5クラスが、平成40年度には28名減の27名4クラスとなります。平成36年度には完全複式に移行となります。

大森小学校は、平成29年度児童数11名3クラスが、平成40年度には13名増の24名となります。

高山小学校は、平成29年度児童数38名4クラスが、平成40年度には6名減の32名となります。平成33年度新入学生が2名となることにより、平成34年度のみ完全複式になります。

温泉津小学校は、平成29年度児童数83名6クラスが、平成40年度には18名減の65名となります。平成30年度から平成34年度まで増加となりますが、それ以降は減少しています。

仁摩小学校は、平成29年度児童数163名6クラスが、平成40年度には35名減の128名となります。

次のページは小学校全体の学年別の数字を掲げています。平成40年度に児童数は、232名の減となります。

続いて中学校です。大田第一中学校は、平成29年度児童数448名15クラスが、平成40年度には78名減の370名12クラスとなります。

大田第二中学校は、平成29年度児童数245名9クラスが、平成40年度には33名減の212名7クラスとなります。

北三瓶中学校は、山村留学生を含め、平成29年度児童数16名3クラスが、平成40年度には2名増の18名となります。平成40年度の18名の内訳は、9名が山村留学生となります。

志学中学校は、平成29年度児童数9名3クラスが、平成40年度には1名減の8名となります。大きな変動はありません。

大田第三中学校は、平成29年度児童数27名3クラスが、平成40年度には4名増の31名となります。

大田西中学校は、平成29年度児童数148名6クラスが、平成40年度には40名減の108名5クラスとなります。

次のページは中学校全体の学年別の数字を掲げています。平成40年度に生徒数は、146名の減となります。以上です。

教育長 ありがとうございます。以上が経過報告です。ご質問等ありますか。

委員 (なし)

教育長 ではこの件については承認ということにいたします。

(5) その他

教育長 続きますして日程の5. その他報告事項です。まず6月補正予算について総務課からお願いします。

川島課長 6月補正予算について説明させていただきます。内容としては、就学援助費の補正です。国の要保護児童の、保護単価が改定されたことによる増額をお願いするものです。

資料をご覧ください。就学援助制度は、教育の機会の均等を目的とし、経済的な理由により就学が困難と認められる児童生徒の保

護者に、必要な援助を与えるのが目的です。

対象者は、要保護者、いわゆる生活保護世帯、または準要保護者、要保護者に準じる程度に困窮していると認める世帯の2通りです。要保護者については国の補助があり、準要保護者については、各市町村が交付し、約3割が地方交付税に組み込まれています。

支援内容は、学用品費、通学用品費、通学費、修学旅行費、学校給食費、新入学用品費などを内容としています。

要保護者については、国の補助単価で主に地域福祉課で生活保護世帯に対して交付していますが、教育委員会としては、修学旅行費と医療費について交付しています。

準要保護者については、国の補助単価に準じて支給することになっています。

今回の補正の経緯ですが、当初予算編成の段階では例年通りに予算要求をしていましたが、年が変わり2月に国の方から単価を引き上げるという通知があり、当初予算では間に合いませんでした。内容は品目の中で、新入学児童学用品費等が、小学校で20,470円が40,600円、中学校で23,550円が47,400円と大幅に改定されています。

この単価改定による影響額は、小学校はトータルで139,000円、中学校は1,110,000円、合計1,249,000円となり、6月の議会でお諮りをする次第です。詳しい内容は資料をご覧ください。

県内他市町の状況については、隠岐郡の2町1村以外は概ね国の保護単価に準じて支給する方向で実施しています。以上です。

教育長
委員

ありがとうございました。ご質問等ありますか。
(なし)

教育長
教育長

ではこの件については承認ということにいたします。
続きまして大田市学校教職員の自家用自動車の校務使用に関する取扱要綱の一部を改正する訓令について学校教育室からお願いします。

和田室長

大田市学校教職員の自家用自動車の校務使用に関する取扱要綱の一部を改正する訓令について報告させていただきます。
資料をご覧ください。改正の理由は、公務使用の登録をすると審査基準に従い教育長が承認し、承認された公務使用に使える自家用車を使い出張先に出かけるのですが、その基準の中に運転経験

年数が1年以上と決められていました。

実際に教職員の中で運転経験年数が1年未満の方がおり、その方は事実上公務使用ができない為、公共交通機関を使用することになります。例えば、三瓶方面等へ行くとなると、公共交通機関では余分な時間がかかると現場の方から相談を受け、この度審査基準を緩和することにより、公務能率の向上を図る目的で一部を改正しました。

改正した内容は、運転経験年数が1年未満であっても、校長が運転技術や用務地までの経路等を総合的に判断し必要と認めた場合は、登録を承認するという形です。

具体的な改正内容は、「教職員の運転経験が1年以上あること。」が、「教職員の運転経験が1年以上あること。ただし、校長が特に必要と認める者はこの限りでない。」となりました。以上です。

教育長 ありがとうございます。ご質問等ありますか。

委員 (なし)

教育長 ではこの件については承認ということにいたします。

教育長 続きまして大田市公民館運営委員会委員の選任について社会教育課からお願いします。

西村課長 大田市公民館運営委員会委員の選任について報告させていただきます。第5回の会議で承認をいただいておりますが、今回は、委員の中で、自治会関係で変更の方について報告をさせていただきます。

資料をご覧ください。変更・追加の該当者の数字は、西部ブロックだけが1名増員となりました。

その他の変更された方については、それぞれのページで変更された方に網掛けをした報告にしています。それぞれの公民館で12名から15名、全体として97名の委員でお願いしています。以上です。

教育長 ありがとうございます。ご質問等ありますか。

委員 (なし)

教育長 ではこの件については了承ということにいたします。

続きまして本因坊戦について社会教育課からお願いします。

西村課長 本因坊戦について報告させていただきます。第72期本因坊戦七番勝負第2局が、5月23日から24日にかけて大森町の重要文化財熊谷家住宅で行われました。22日には大田市入りをされる

際、本因坊道策の生家である山崎家を訪問されました。その後前夜祭を行い、23日、24日に対局が行われました。資料に写真を掲載していますが、初日の10時のおやつ、銀山縁起物語は、今年の梅レシピコンテスト最優秀作品です。おやつなども、インターネットや動画を通して即配信されるので、出来るだけ大田市や大森町をアピールできるものを選んでいきます。対局は本因坊が24日に勝利しました。23日に熊谷家住宅向かいのオペラハウス大森座にて指導碁が開催され、また24日に大盤解説会が行われました。指導碁には約13名、大盤解説会には約40名が参加され、県外からも参加されていました。25日は中村館と世界遺産センターを訪問され、ロード銀山で食事をし、出立されました。21日、22日には関連事業として、大田市囲碁を盛んにする会主催の少年少女囲碁大会、島根県支部対抗戦が大田市で行われました。以上です。

教育長
委員
教育長
教育長

ありがとうございました。ご質問等ありますか。

(なし)

ではこの件については了承ということにいたします。

続きまして日本遺産認定申請の結果について石見銀山課から願います。

遠藤課長

日本遺産認定申請の結果について報告させていただきます。

本年の1月末に申請した石見銀山街道について、平成29年4月5日に文化庁における審査がありました。本年は17件が認定されましたが、石見銀山街道については認定となりませんでした。文化庁は100件の登録を予定していますが、29年までに54件が認定を受けており、残り46件という状況ですが、今後も引き続き認定を目指し、取り組んで行く認識をいたしました。以上です。

教育長
委員
教育長

ありがとうございました。ご質問等ありますか。

(なし)

ではこの件については承認ということにいたします。

続きまして石見銀山10周年記念式典等について石見銀山課から願います。

遠藤課長

石見銀山10周年記念式典等について報告させていただきます。石見銀山世界遺産登録10周年まで、残り37日となり、石見銀山課を中心に準備をしています。7月1日・2日の現時点での予定を説明させていただきます。

7月1日土曜日は、あすてらすを使用し、調査研究をテーマに毎年行っている、シンポジウム「石見銀山学講座 ここまでわかった 石見銀山特別編」を10時から16時30分まで開催します。基調講演を2本行い、1本は仲野委員にお願いしています。県内外の方からの報告を4本、教育長にコーディネーターをいただいて、パネルディスカッションを午後の後半に行います。

また、遺跡のパネル及び大田高校の写真部、またはNPO石見銀山協働会議等のパネル・ポスター展を終日行う予定です。

熊谷家住宅において、9時から17時まで、ぎんざんカフェを行う予定です。夜はレセプションがあります。

10周年をどう捉えるのかという1つの考え方として、若い世代に今の世界遺産、あるいはこれからの世界遺産、そこで暮らすことや仕事をする、特に高校生世代を中心に考える機会を提供したいということで、大田高校、邇摩高校と相談し、今回は邇摩高校に取り組んでいただきます。

テーマは銀の哲学ということで、邇摩高校の農業クラブの生徒14名に地域課題解決学習として取り組んでもらいます。おもてなし、メニュー作りなどが授業内容となっており、7月1日にカフェを行い、これについては7月2日の式典の中で短い時間ではありますが、報告もする予定にしています。

7月2日日曜日は、午前10時から12時半まで記念式典を予定しています。

主な内容は、今回は映像でたどる石見銀山ということで、登録10年前以前の状況が分かる写真や動画を含めて資料を集めており、登録までの状況から、登録時そしてこの10年間、将来が展望できるような内容で、新たな映像を作成しています。

これをメインとしながら、この10年間の振り返り、また節目とするような式典にしたいと考えています。内容はカフェの報告などを含め交渉中ですが、対談等も予定しています。

遠藤課長

式典の後、14時から16時まで市民の実行委員会によるオペラ石見銀山の昼公演が行われます。

2日の夕方には講演会なども予定していますが、地元の方と一緒にできればということで交渉中です。以上です。

教育長
委員

ありがとうございました。ご質問等ありますか。
(なし)

教育長 ではこの件については了承ということにいたします。
 教育長 続きまして石見銀山パーク&ライド交通実証実験について石見銀
 山課からお願いします。
 遠藤課長 石見銀山パーク&ライド交通実証実験について報告させていただ
 きます。登録時から、来訪者や観光客の受入れ体制、過剰な車輛
 の入り込みをいかにコントロールするかということで、パーク&
 ライド方式を長くとって来ました。
 この間課題がいくつかあり、特に障がいのある方等、歩行に困難
 のある方が、メインの目的地である龍源寺間歩へ行けない状況が
 この10年間に発生し、何らかの対応が必要だと言われてきました。
 5周年には電気バスを導入したりしてきましたが、今年の6
 月20日前後から実証実験を行う予定です。
 概ね半年間、市の電気自動車公用車を使いながら、銀山公園と龍
 源寺間歩間を往復する際、障害者手帳所有の方に呼びかけ、電気
 自動車に乗車していただき、様々なお話を聞きながらモニタリン
 グを行い、どういう車が良いのか、速度の問題等のアンケートを
 取りながらデータを集めることを目的に実証実験を行います。以
 上です。
 教育長 ありがとうございます。ご質問等ありますか。
 竹下委員 長年歩行困難の方の問題はあったので、実証実験が行われるのは
 歓迎したいと思います。
 梅枝委員 車を運転されるのは本人ですか？
 遠藤課長 外部の会社に委託をし、運転手をお願いする形になります。
 教育長 介助者最大2名ということは、最大3人乗れるということですか。
 遠藤課長 はい、そうです。
 教育長 乗車してもらえるような対応はしてありますか。
 遠藤課長 地域福祉課や障がい者団体連合会と試行期間を設けるということ
 で、スタートして何度か乗車してもらうことも想定して準備して
 います。
 仲野委員 これは予約ではなく、行けば乗車できるのでしょうか。
 遠藤課長 はい、その場で受付をします。
 教育長 ありがとうございます。その他ご質問等ありますか。
 委員 (なし)
 教育長 ではこの件については了承ということにいたします。
 教育長 最後に大田市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱につ

いて石見銀山課からお願いします。

遠藤課長 大田市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱について報告させていただきます。

4月の定期人事異動により変更が生じたため、後任者を委嘱するものです。委員の定数は17名以内で、任期は2年としています。ただし補欠委員の任期は残任期間としています。

変更する委員については、島根県教育庁文化財課世界遺産室の室長が異動になりました。小塚誠治さんから山根雅之さんに変更となります。任期は平成29年4月1日から平成30年6月30日までです。

全体の名簿と根拠法令は、資料裏面に掲げています。以上です。

教育長 ありがとうございます。報告は以上ですが質問等ありますか。

委員 (なし)

教育長 ではこの件については承認ということにいたします。

教育長 次第にある報告事項は以上です。その他事務局からお願いします。

渡邊センター長 学校給食センターです。

新聞等で報道がありご承知かと思いますが、大田西中学校の異物混入について報告させていただきます。事実関係概要についてです。5月24日水曜日、大田西中学校に提供した、ちくわの青のりフライにホッチキスの針が1本混入していました。大きさは縦5mm横10mmです。学校の先生が食されたのですが、先生が食べて気が付いたときは、既に生徒、他の教職員は給食を終了していました。学校では、直ちに教職員・生徒を教室に集め、健康状態を確認し、特に問題はなかったと判明しています。ちくわの青のりフライのちくわについては、納入業者から納入したちくわを学校給食センターで調理し、給食として提供したものです。直ちに混入経路について調査を開始しました。調査の詳細については後程説明いたします。

保護者への対応についてです。同日に大田西中学校の全保護者に報告を合わせ、生徒を通じてお詫び文章をお配りしています。

今日の段階での調査結果についてです。ちくわの青のりフライの食材は、ちくわ、薄力粉、青のり粉、あげ油です。ちくわについては、出雲市の業者から納品したものです。その業者の現在での聞き取り調査では、工場内にはホッチキスのようなものは持ち込んでいないが、原材料のスケトウダラ等のすり身は他の業者から

納入している為、そこに対して調査をかけている状況です。薄力粉も業者から納入していますが、これについても同様に、工場内にはホッチキスのようなものは持ち込んでおらず、出荷する際にはすべて金属探知機等で検査をしている為、混入は考えられないという中間報告をいただいています。青のりについても、工場内でホッチキスの使用は禁止しているため、混入は考えられないが、事務所ではホッチキスを持っているのでそれについては確認中という報告が出ています。学校給食センターでは、調理場の中では、ホッチキスやゼムクリップなどは一切ないので、調理場のなかでの混入は考えられません。事務所では職員が3名ホッチキスを持っていますが、基本的に調理場内へ入る際は持ち込まないので、給食センター内での混入はまず考えられません。

昨日県央保健所の立ち入り検査が約3時間近くありました。調査官が3名参り、調理場内、当日の工程順路すべて再現し見ていただきました。評価としては、99.9%ここではないだろうと、総括をしていただきました。近日中に県央保健所から立ち入り検査の報告をいただく予定となっています。

この報告を受け、県教委保健体育課には発生から2週間以内に事案の報告をする必要がある為、概要がまとまり次第報告する予定です。以上です。

教育長 ありがとうございます。報告は以上ですが質問等ありますか。

委員 (なし)

教育長 ではこの件については了承ということにいたします。

教育長 それでは、議題等は全て終了致しました。

次回の定例会は6月22日です。よろしく申し上げます。

7. 閉 会

教育長 以上をもちまして、第5回大田市教育委員会定例会を閉会いたします。

以上をもって委員会を閉会した。

以上の会議録は、前回の会議録として承認を終了した。

平成29年6月22日

作成者 総務課長補佐 森本学

以上の会議録は、前回の会議録として承認を終了した。

平成29年6月22日

教育長 大國 晴雄

委員 竹下 ちとせ

委員 仲野 義文

委員 梶 伸光

委員 梅枝 奈保美

委員